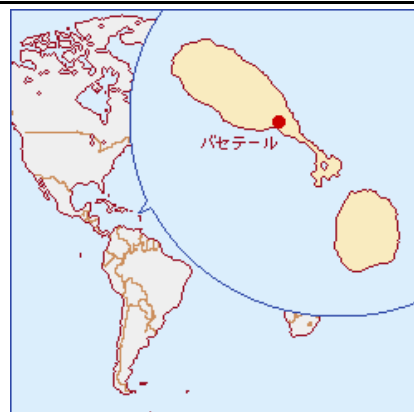


国名(日本語)	セントクリストファー・ネーヴィス
国名(英語)	Saint Christopher and Nevis



国名の由来	セントクリストファー島(セントキッツ島)とその南にあるネイビス島の名を合わせたもの。15世紀末コロンブスが来航後、イギリスとフランスによる領有権争いの結果、1783年イギリス領として確定。その後、イギリス領西インド諸島連邦に加盟し、1983年イギリス連邦の一員として独立。
国旗の由来	2つの星は自由と希望を象徴し、国を構成するセントクリストファー(セントキッツ)島とネイビス島の2つの島を表す。緑は豊かな国土と農業を、黄は太陽の光と富を、黒は国民の祖先のアフリカ系黒人とその伝統を、赤は植民地主義と隷属の打破を表している。独立した時に作られた。
1 面積	260平方キロメートル(西表島とほぼ同じ)
2 人口	5.5万人(2014年 世界銀行)
3 首都	バセテール
4 言語	英語
5 宗教	キリスト教(英国国教会、プロテスタント、カトリック)等
6 豆知識	イギリスが17~18世紀に建設した西インド諸島最大の要塞跡があり、1999年「ブルムストーン・ヒル要塞国立公園」として世界遺産(文化遺産)に登録された。